

コンプライアンス

コンプライアンス



従業員一人ひとりが高い倫理観を持ち、
いかなる不正も許容しない企業風土の浸透を図り、
コンプライアンス態勢の充実に努めます。

ペンシルの取り組み・目標

- 公正で透明性の高い経営
- 啓発や研修などを通じた従業員のコンプライアンスに対する意識醸成
- 社内および取引先コンプライアンス相談窓口の設置

コンプライアンス — 具体的な取り組み

コンプライアンス



Confidential



■公正で透明性の高い経営

ガバナンス体制

ペンシルにおけるコーポレート・ガバナンスは、多様化・複雑化が進む社会の動向を把握しながら、すべてのステークホルダーと対話・共創を進め、理念の実現と、それによる持続的な企業成長および社会成長を実現するために、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みです。

取締役・執行役員および社外監査役によって体制を構築。役員は知識・経験・能力などの多様性バランス・規模を鑑みながら構成し、絶えず体制強化を続けています。



企業倫理の浸透

ペンシルは理念実現のために、全7条の「企業行動憲章」を経営倫理規程として制定しています。また、すべての事業活動においてスタッフ一人ひとりが高い倫理観をもって行動するための規準として「行動規範」「PSルール（ペンシルサステナビリティール）」「ハラスメント防止規程」などを制定し、ガバナンスを強化しています。

さらに、「ペンシルサステナビリティ方針」「人権方針」「環境基本方針」「ダイバーシティ経営推進方針」を定め、ステークホルダーと共創を進めながら、持続可能な社会の実現に向けた目標・アクションプランの設定を行なっています。

コンプライアンス — 具体的な取り組み

コンプライアンス



Confidential



■ 適正な情報開示と透明性の確保

全てのステークホルダーに、経営方針および事業内容に関する理解を深めていただくために、決算発表などの財務情報、経営戦略・各種方針発表などの非財務情報について、法令に基づき、適時・適切な開示を行います。

さらに、開示が義務付けられていない情報についても、ステークホルダーとのコミュニケーションにおいて重要な情報については、プレスリリースやウェブサイト等の自社メディアを通してタイムリーかつ積極的な情報開示を行います。



■ ビジネスパートナーマネジメントや監査体制



持続可能な社会の実現に向けて、ビジネスパートナーとの強固かつ良好な関係構築のためにパートナーシップマネジメントや監査体制の強化にも取り組んでいます。

パートナー企業との取引開始時には、「倫理観に基づいた事業活動」「人権尊重と労働」「安全衛生」「環境経営の推進」「情報セキュリティへの対応」「腐敗行為」などサステナビリティの観点でリスク評価を行い、契約締結後も発信や対話を通して、共に豊かな未来づくりを進めるためのコミュニケーション強化を行なっています。

今後もサステナビリティの重要性について相互理解を促進し、共創・協働を図ります。

コンプライアンス — 具体的な取り組み

コンプライアンス



Confidential



■ 啓発や研修などを通じた従業員のコンプライアンスに対する意識醸成



理念・行動規範・PSルールや、各種制度などを解説したハンドブックを全スタッフに配布し、ペンシルスタッフとして業務を遂行していく上で必要な知識をいつでも確認できるようにしています。



コンプライアンスの重要性やリスク、守るべき法令などについて周知・確認するために、全社員向け研修や、経営層・管理職・新入社員など、役職やレイヤーに合わせた階層別研修を実施しています。

ハラスメント研修・リテラシー研修など、多岐にわたるテーマで行います。

■ 社内および取引先コンプライアンス相談窓口の設置



各種、相談窓口を設置。公正な調査解決ルート、相談者の不利益な扱いの禁止・相談内容の秘密保持を明示した規程を整備し、相談受付方法などと合わせて周知を行っています。

また、スタッフに対しては、「お仕事なんでも相談窓口」「ハラスメント相談窓口」をはじめ会社に対するリクエストや役員との対話を申し出ることが可能な窓口を設置し、相談を受け付けています。さらに相談窓口以外にも「ダイバーシティ・モチベーター」がメンターとして在籍。仕事や家庭のことなど様々な悩み・相談をスタッフが気軽に話せる面談を実施しています。